

## 「血管撮影室の紹介」

中央放射線部長

にかいどう のりまさ  
二階堂 教雅

みなさんは「血管撮影」というと、どのようなものを想像するでしょうか？

それは勿論血管を写します。少し穿った言い方をすれば、造影剤を使って血液の流れる様子を画像として見る事が出来る装置です。

当院には、フィリップス社製の装置が導入されています。



この装置は、大血管だけでなく抹消血管などの細かな部分まで正確に描出することが出来ます。

また、バイプレーンといって2方向（例えば正面と側面）を同時に撮影することが出来ます。そのため血管の狭窄部位などを見極めることに威力を発揮します。

さて、血管撮影検査の特徴は、CTやMRI等とは違い、検査というよりも治療として使われることです。

例えば心臓の血管が詰まっているのなら、その血管を広げたり、がん等には血管を辿ってすぐ近くから抗がん剤を流したり、又がんに栄養を与えている血液を止めて、がんの進行を妨げたりします。

事故などでは、造影剤の漏れる箇所（出血している場所）を探して止血する等行われます。

そのために腕や足の血管からカテーテルという医療器具を体に入れるのですが、その傷は数ミリ程度で手術などとは違って縫う必要もなく、傷もほとんど残りません。

体に対する負担の少ない、やさしい治療の出来る装置です。

### 【生活習慣病教室のご案内】

**日時** 令和元年12月25日（水）14：00～15：00 テーマ『 糖尿病・その4 』

「守ろう！自分の足を～知ってますか？フットケア～」 「糖尿病の合併症！神経障害の検査」

「糖尿病神経障害について」の3つのお話を準備して、皆様のお越しをお待ちしています。

**会場** 富山ろうさい病院 2階 採血室待合 2階外来受付に声を掛けてください。

**申し込み・問合せ** 2階外来 0765-22-1280（代表）